



清流清く

学校だより第5号

令和5年8月25日（金）

関川村立関川中学校

グッドルーザー

校長 櫻井 雅之

今年の夏は例年にも増して酷暑となり、最高気温が35℃以上となる猛暑日が続いています。また、線状降水帯による豪雨災害が全国各地で発生するなど、いつ、どこで発生するかわからない災害に対して、防災意識を高める必要性を感じさせる期間にもなりました。

夏休みになってからも、体育祭の準備で多くの生徒が学校で頑張っていました。各軍の異学年の生徒が良い雰囲気の中で協力して一つのことに向かい努力をする姿は、とても微笑ましく、頼もしく見えました。また、部活動では、3年生引退後、1・2年生主体の新体制となり、熱中症に気を付けながら熱心に活動していました。

さて、先日まで熱戦が繰り広げられていた全国高校野球選手権大会は、慶應義塾高等学校（高校野球での校名表記は「慶応」）の優勝で幕を下ろしました。それらを扱った記事に心惹かれるフレーズとエピソードがあったので紹介します。決勝で敗れた仙台育英高等学校の監督と選手は、優勝校の勝利インタビューを整理して聞き、表彰式で相手選手への表彰に拍手を送り、大会委員長の講評にもお辞儀をしていたそうです。その、仙台育英高等学校の監督である須江さんは、選手に「負けた時に人間の価値が出るからグッドルーザーであれ。負けた時に全力で相手に拍手をしてほしい。」と宮城県大会の初戦の前の日に伝えたとのことでした。

グッドルーザーでもう一つ思い出したのが、もう何年も前になりますが、第87回全国高校サッカー選手権大会準々決勝で鹿児島城西高等学校に敗れた滝川第二高等学校のエピソードです。主将である中西選手は、試合後のインタビューで悔し涙を流しながら「大迫半端ないって。」と、チームメイトや監督と共に相手校のエースである大迫選手を絶賛しました。監督と選手の隔たりなく和気藹々とした雰囲気の中で、相手校を称賛する姿がとても印象的な映像でした。最後に当時の監督である梶さんは、「鹿児島城西を応援しよう」と締めくくります。

負けた直後は、悔しさのあまり感情的になり、敗因を他のせいにしてたり、必要以上に自分を責めたりするものです。しかし、この二つのエピソードは、敗戦をしっかりと受け止め、さわやかに相手を称賛しています。そのような姿から、私自身も学ぶことがとても多かったです。

さあ、2学期が始まりました。様々な行事が多いこの学期、皆さんと一緒に充実した学校生活にしていきましょう。

2学期のスタートです

8月25日（金）の始業式で、各学年の代表生徒が2学期の抱負を発表してくれました。

1年2組 松田 純

僕が2学期頑張りたいことは、2つあります。

1つ目は、勉強です。2学期になると、勉強が1学期よりも難しくなると思います。1学期のテストでは、あまりいい点数をとることができませんでした。2学期では、いい点数をとれるように、分からないところをくり返しやって覚えられるようにしたいです。

2つ目は、体育祭です。僕は応援団になったので、リーダーシップをとってみんなを引っ張っていきたくと思っています。1年生は初めての体育祭なので、2, 3年生の先輩たちについていけるように精一杯頑張りたいです。

2年1組 山口 友希乃

私が2学期に頑張ることは二つあります。

1つ目は勉強です。私は数学がとても苦手です。だから、その日に学習した内容を家に帰って復習します。そして、テストで正解できるように理解したいと思います。テストの点数も、1回目よりも高得点を取り、それを維持していけるようにしたいと思います。

2つ目は部活です。新チームとなり、私たちが主となって部活動をしていくので、声を出して後輩をリードしたいです。みんなにすばやく指示を出したり、素早く動いたりできるようにしたいです。臨機応変に対応することができる先輩になれるように頑張ります。2学期は、この他にも色々なことに挑戦していこうと思います。

3年1組 近 理葉

私はこの夏休み、高校受験を意識して学習に取り組みました。主に1、2年生の内容は忘れていたところが多かったので、復習に時間をかけました。

また、実力テストの解き直しも行いました。私は特に英語の長文問題が苦手なので、タイマーで時間を測り、理解できるまで何度も解くことを心がけました。

このように、夏休みの学習を通して見つけた目標は「苦手教科と得意教科の差を小さくすること」です。この目標に向けて、2学期も勉強を頑張りたいです。

また、学校生活の面では、今年から復活した大したもん蛇まつりがあります。4年ぶりの開催となるため、私達にとっては中学校生活最初で最後のまつりへの参加になります。みんなと一緒に参加できることに感謝して、思い切り楽しんで、よい思い出をつくりたいです。

そして、体育祭や奏緑祭では、最上級生として1、2年生のお手本になれるよう精一杯取り組んで残り少ない中学校生活を悔いの残らないように過ごしていきたいと思っています。

少年の主張大会～わたしの主張～ 村上・岩船地区大会

8月22日(火)、村上市教育情報センターで行われた少年の主張大会に、当校を代表して3年生の田村柚葉さんが出場しました。今、社会的に問題になっているSNSへの書き込みについて改めて考えさせられる内容でした。最後の、手話も交えながら、堂々と発表しました。

言葉の世界

3年1組 田村 柚葉

世界が少しずつSNSに染められるようになった今の時代。私も常日頃SNSを使用している。皆さんはSNSをどのように使用しているだろうか。動画視聴、調べもの、オンラインなど。世界中のどんな人とも繋がれるとても便利なSNS。しかし、近頃、この便利なSNSで人を傷つける行為、“誹謗中傷”という言葉が私の耳によく入ってくる。

誹謗中傷の被害者の一人として、あるタレントさんがいる。彼はある事件の犯人であるという根拠のない誹謗中傷を十年以上受けていた。当初、彼は疑いを晴らすため、説明用のブログを開設したが、そこにも「お前が犯人だ」、「早く捕まればいいのに」などといった書き込みが殺到した。このタレントさん以外にも、数え切れないほどの誹謗中傷が世界中で今も起こっている。「この人のせいで」、「死んでしまえ」、これは実際に誹謗中傷で被害者に浴びせられた言葉だ。皆さんはこのような言葉を浴びせられてどのような気持ちになるだろうか。私は心にナイフが刺さったような気持ちになる。誹謗中傷の被害者の中には、心を傷つけられる言葉に耐え切れず自ら命を絶ってしまう人もいる。このまま苦しむ人が増えていっても良いのだろうか。

SNSには大きな力がある。直接その人には言えないけれど、SNSとなると素直に自分の本音を出させるという力。この力が誰かの役に立っているのはもちろんだが、誰かを傷つけてしまっていることもあると思う。「バーカ」、直接この言葉を誰かに言ってみたとする。すると、相手の表情が真剣になったり、雰囲気が悪くなったりして、この言葉は相手を傷つける、言うてはいけない言葉だということがうかがえると思う。しかし、SNSとなると、この言葉を受け取る相手の表情がうかがえず、「自分が言った言葉はそこまで重くないのだな」と、言った本人は受け止めてしまう。さらに、SNSは匿名で色々な書き込みができる。だから、誹謗中傷は「皆がやっているから俺もやっちゃお」、「おもしろそう」という軽い気持ちで波紋のようにたくさんの人に広まっていき、相手を傷つける。そして、だんだんとその凶器は鋭くなっていく。

このように、“言葉”というものは、たった一つで誰かを絶望に突き落とすことも救うこともできる。そんな非常に強い力のある“言葉”を相手のことも考えず、軽い気持ちで使って傷つけることは、加害者にとっては一瞬の出来事かもしれない。しかし、被害者は一生の記憶に残り、一生その言葉を抱いて生きていかなければならない。

人間は一人一人に人権という、生きていく上で空気のように存在している。存在しなければならないものもっている。また、命は一人一人違うものであり、個性もっていて、本当に尊いもの。何にも代えられないものである。過去の自分が今の自分をつくる。だから、常に自分の未来を、周りの人の未来を、明るくする行動をしなければならない。

科学が進歩していくとともに、SNSの使用が増えてきた今の時代。そんな時代だからこそ、SNSを使う際には、言葉は凶器になることもあるということを頭の片隅に置き、この言葉は相手を傷つけないかどうかを考えて発言していきたい。そして、SNSに限らず、日常での人との関わりや会話でも相手のことを考え、言葉に気を付けて生活していきたい。もし、苦しんでいる人がいたら、相手が自分だったらどうすべきか考え、優しくその人に寄り添い、相談に乗ったり、アドバイスをしたりしたい。ちょっとした言葉で相手の人生が変わる。一つ一つの言葉を大切にすることで一人一人が自分の色をもち、互いの色を認め合える、住みやすい社会になっていくと思う。

世界にたくさんの色を。明るい社会を。

関川村の未来の仕事について考えました！

8月5日(土)、関川村主催の『未来のしごと』ワークショップが東桂苑で開催されました。関川小中学生と大人で、関川村のいいところや困りごとを踏まえて、新しい技術を使った未来の仕事について考えました。中学校からは5名が参加し、活発に話し合いに参加していました。この様子は8月11日付の新潟日報にも掲載されました。

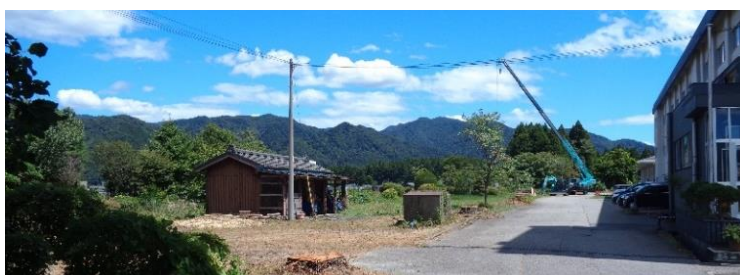


健闘の記録

ソフトテニス部 郡市1年生研修会(8/5) 第1位 池田乃愛・佐藤里帆
 第3位 伊藤柚愛・高橋舞花
 卓球部 全日本卓球選手権(カデットの部)新潟県大会新発田支部予選会(8/11)
 2年男子シングルス 第3位 石谷鼓太郎
 わたしの主張 村上・岩船地区大会(8/22) 奨励賞 田村柚葉

< 9月の主な予定 >

日(曜日)	予 定
1日(金)	あいさつ運動
5日(火)	預り金振替日
8日(金)	体育祭準備
9日(土)	体育祭 昼食用意 (荒天中止の場合は週休日になり、10日に順延)
10日(日)	体育祭予備日 (この日も荒天中止の場合は週休日になり、11日以降に延期)
11日(月)	振替休日
12日(火)	生徒会専門委員会 スクールカウンセラー来校日 ※ この週より、冬時程開始 下校17:35 下校バス17:45
14日(木)	生徒朝会 3年生起震車体験5限 テスト前部活動停止・セーブメディア強調週間~22日
15日(金)	P T A 2学年親子レクリエーション5・6限
19日(火)	放課後学習会(~20日)
21日(木)	第2回定期テスト(~22日)
22日(金)	避難訓練・防災学習、防災給食、教育相談アンケート
24日(日)	郡市音楽発表会 吹奏楽部参加(ふれあいセンター)
25日(月)	プラスワンカルチャースタート 合唱実行委員会
26日(火)	いじめ調査 2年生職場体験(~28日)
27日(水)	3年生単元別整理テスト
29日(金)	人権教育、同和教育公開授業 3学年P T A親子レク打合せ18:00~



折れ木からの事故を防ぐため、校舎周辺の大木を伐採しました。